

これからの食料生産① (教科書 112~119 ページ) **解答**

氏名()

①日本が食料を輸入している主な国を書きましょう。(教科書 112 ページ)

中国、台湾、フィリピン、ベトナム、タイ、インド、オーストラリア、アメリカ、カナダ、ブラジル、チリ、ノルウェー

②日本の食料生産量は、どのように変化していますか。(教科書 113 ページ)

- 米、野菜、魚・貝類、果物は減っている。
- 肉類、小麦はあまり変化していない。

③「食料自給率」とは何ですか。説明しましょう。(教科書 112 ページ)

国内で **消費** された食料のうち、国内で **生産** されたものの割合。

④主な食料の自給率は、どのように変化していますか。(教科書 113 ページ)

小麦以外は、どの食料も減っている。

⑤食料の輸入が増えたのは、何が発達・進歩したからですか。(教科書 113 ページ)

交通 (の発達) と冷凍技術 (の進歩)

⑥食料の輸入には、消費者と生産者にとって、どのような長所と短所があるでしょうか。(教科書 114・115 ページ)

	長所	短所
消費者	日本では多くとれない食料や安い値段の食料を買うことができ、食生活を豊かにすることができる。 など	・相手国で事故や災害があった場合に、食生活が不安定になる可能性がある。 ・輸入された食料は、どこで、だれが、どのように生産したのか、確かめにくい。 など
生産者		外国産の安い食料や新しい食料が増えると、競争がはげしくなる。 など

⑦食料の輸入は、世界の自然環境にどのようなえいきょうをあたえていますか。(教科書 115 ページ)

- ・日本などへ輸出するえびを育てるために、マングローブの林を切って、養殖池をつくっている国がある。
- ・遠くから大量の食料を運ぶと、フードマイレージが高くなって、二酸化炭素などのガス排出量が増える。

これからの食料生産② (教科書 112~119 ページ) 解答

氏名()

①食料を生産する人やとどける人たちは、生産や消費を増やすためにどのようなことに取り組んでいるのか調べましょう。また、それらの取り組みにはどのようなよさがあるかを考えて書きましょう。(教科書 116・117 ページア~キ)

	どんな取り組みですか	取り組みのよさ
ア 輸 出	ぶりを外国に輸出している。	(例) 輸出が増えれば、そのぶん生産量も増える。
イ 野 菜 工 場	室内で光や温度を調節して、計画的に野菜を生産している。	(例) 農薬を使わず、安全性の高い野菜を生産できる。
ウ 生 産 者	<small>にゅうぎゅう</small> 乳牛の健康状態をア <small>じょうたい</small> プリで管理している。	(例) 作業が楽になり、働く人の不足を補うことができる。 <small>おぎな</small>
エ ス ー パ ー マ ー ケ ツ ト	スーパーマーケットが農家と契約を結んで、野菜を生産してもらう。	(例) 質のよい作物を安く確実にとどけることができる。買い取り先の不安がないので、農家も安心して生産できる。

オ 直 売 所	地元の農産物や、それらを材料にした加工品を売る。	(例) 食料を運ぶ距離が短くなり、フードマイレージが小さくなる。地元の農家の収入になる。
カ 生 産 者	味や安全性、育て方にちがいをつけたブランドぶた肉を生産している。	(例) 味や安全性にすぐれているため、多くの消費者に選ばれる。
キ 形 の 悪 い 野 菜	見ばえが悪くても、味や安全性に問題がなければ売る。	(例) 食料をむだにしなくてすむ。むだにしないぶん、農家の収入を増やすことができる。安い値段で買うことができる。

②国内の食料生産を発展させるには、どうしていけばよいでしょうか。生産者と消費者の立場から考えましょう。(教科書 118・119 ページ)

生 産 者	自分の考えを書きましょう
消 費 者	自分の考えを書きましょう